

## (2)調査ボーリング

## 【堤体上下流面】

堤体上下流面のひび割れの深度確認のため、図 2.1～2 に示す位置で合計 6 孔の調査ボーリングを実施した。その結果、ひび割れ深さは全て 3m 以浅であった。

上流面：	7BL	EL.105.75	ひび割れ深さ 0.8m
上流面：	7BL	EL.119.1	ひび割れ深さ 1.4m
上流面：	9BL	EL.107.1	ひび割れ深さ 2.2m
上流面：	9BL	EL.116.4	ひび割れ深さ 1.2m
下流面：	7BL	EL.106.5	ひび割れ深さ 3.0m
下流面：	10BL	EL.107.0	ひび割れ深さ 1.0m

## 【下流フーチング部、監査廊部】

13BL および 5BL において、ひび割れ追跡のため図 2.5～6 に示す位置で調査ボーリングを実施した。

- ① 13BL：5 本のボーリングの結果、ひび割れは岩盤まで到達の可能性がある。
- ② 5BL：2 本のボーリングの結果、ひび割れは岩盤まで到達の可能性がある。
- ③ 監査廊：ダム軸に近い No.4、5、6 は 2 本のボーリングの結果、表面部に限定される。堤趾に近い No.1、2、3 は 3 本のボーリングの結果、岩盤まで到達の可能性がある。

## 【下流フーチング部補修工事】

下流フーチング部の補修工事においては、調査孔、注入孔、排水孔、確認孔等合計延長 1000m 以上のボーリングを実施した。これらについては、補修工事の章で述べる。ボーリングの一覧表を表 2.2 に示す。

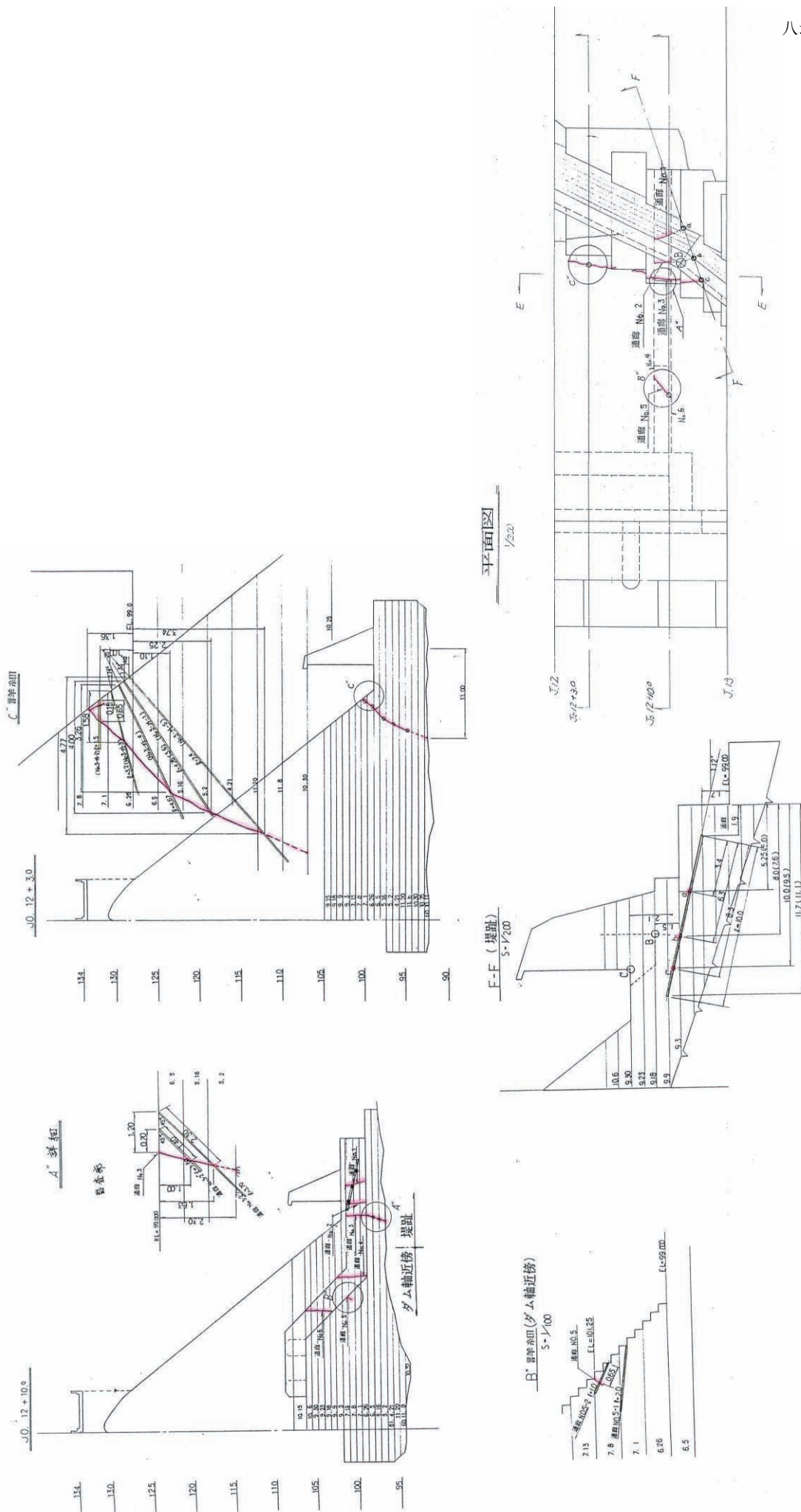


図 2.5 13BL ひび割れ追跡ボーリング位置図

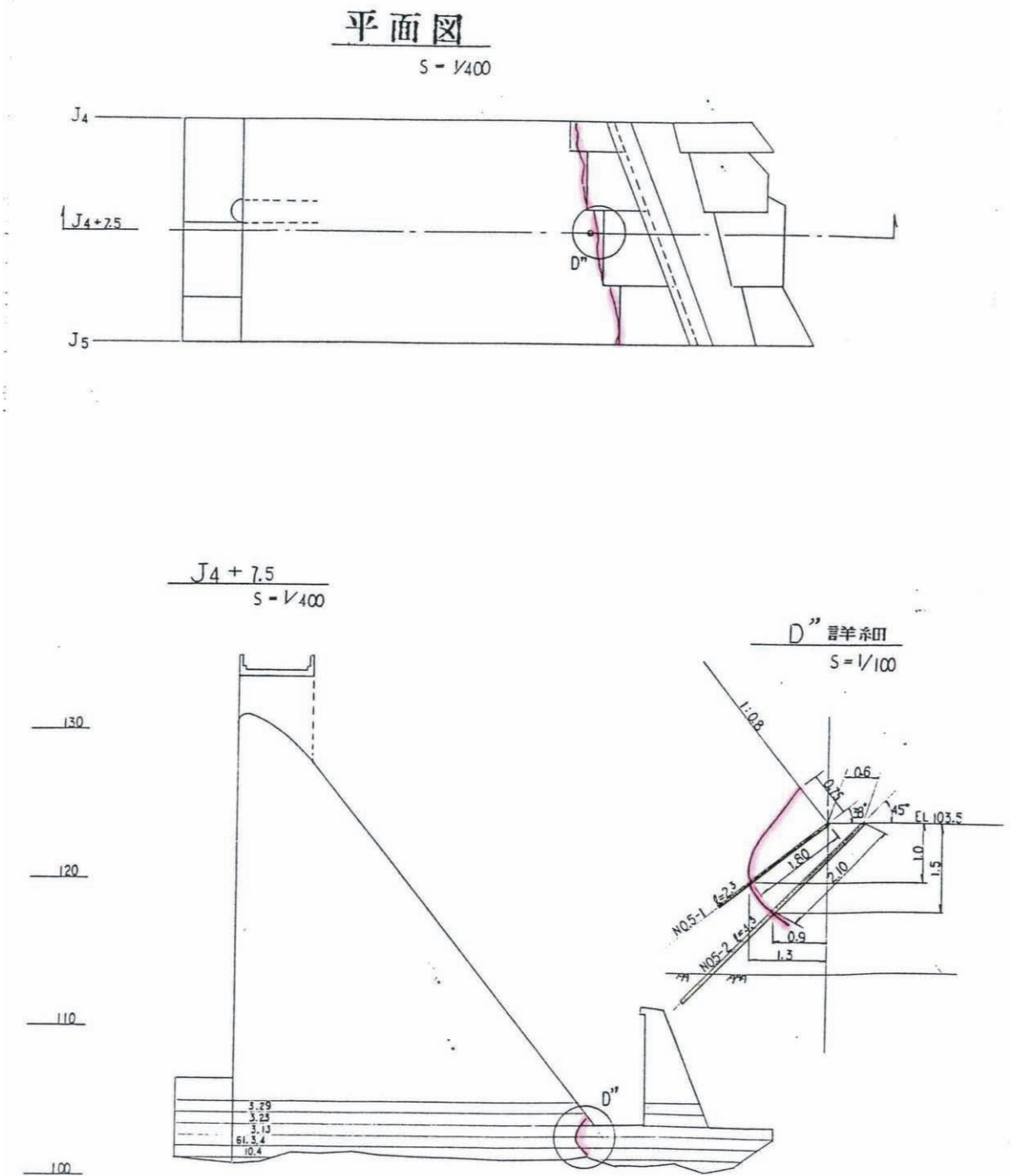


図 2.6 5BL ひび割れ追跡ボーリング位置図

表 2.2 ポーリング総括表

工 種	径mm	3 BL		4 BL		5 BL		6 BL		1 2 BL		1 3 BL(1)		1 3 BL(2)		1 3 BL(3)		計	
		本数	延長 m	本数	延長 m	本数	延長 m	本数	延長 m	本数	延長 m	本数	延長 m	本数	延長 m	本数	延長 m	本数	延長 m
調査ポーリング	φ46	7	30.8	11	38.5	10	31.1	3	9.9	15	50.65	—	—	7	24.8	15	52.45	68	238.2
	φ66	—	—	—	—	4	12.7	7	20.9	—	—	7	27.08	—	—	—	—	18	50.63
注入孔ポーリング	φ46	11	30.7	19	53.5	21	47.75	24	66.1	22	64.7	42	188.5	11	44.2	22	84.75	172	580.2
排水孔ポーリング	φ86	3	27.0	3	23.5	3	23.9	3	24.7	3	26.7	3	30.0	1	9.3	1	8.9	20	174.0
確認ポーリング	φ150	—	—	—	—	1	1.03	—	—	1	1.15	1	2.38	—	—	—	—	3	4.56
	φ86	3	7.45	8	23.33	7	19.83	3	6.2	8	19.74	5	24.41	2	6.15	6	22.48	42	129.59
計		24	95.95	41	138.83	46	136.31	40	127.8	49	162.94	58	272.32	21	84.45	44	168.58	323	1187.18